

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県伊勢佐木警察署協議会
日 時	令和7年1月30日（木）午前10時から正午までの間
場 所	関東学院大学横浜・関内キャンパス
出席者	1 警察署協議会側 織茂圭賛、白井崇雄、河原敬子、野村真人、木村友之、山森典子、山下大輔、立石文恵 計8人 2 警察署側 署長 加藤雅道、会計担当次長 吉留誠、生活安全担当次長 工藤教福、刑事担当次長 丹羽典次、地域担当次長 松岡祐、調査官 吉田正博、交通課長 佐々木剛、警備課長 浅野貴和 計8人
議事要旨	前回協議（ディスカッション）における意見及び該意見に対する取組 1 協議における意見 前回警察署協議会の協議の場において、 (1) 警察 闇バイトに関し、警察は、被疑者からの話を聞くことはできるが、被害者側から話を聞く機会が少ないため、学生などのコミュニティから情報を得る機会があると良い。 (2) 関東学院 当学として、闇バイトについての情報や防犯指導などの機会があると良い。 との話しがあった。 2 座談会の実施 令和6年12月13日、関東学院大学横浜関内キャンパスにおいて、同大学らに対し闇バイトに関する講和に行い、その後、座談会を行った 学生の意見概要 (1) YouTubeなどのSNSなどを利用して、闇バイトの危険性について、学生などの目に留めるような内容を発信してはどうか。 (2) 闇バイトに申し込む学生が、お金の価値を分かっているのではないか。また、バイトで得られる給料の相場を把握しておらず、ローリスクハイリターンと思っているのではないか。 (3) 知らない間に、自分が被害者になったり、犯人になったりすることがあると思った。
	議題「人材確保について」（ディスカッション） 前回協議会のディスカッションの中で、「人材確保については、警察、民間とも大きな問題である」との話題が出たため、傍聴している、関東学院大学の学生も一緒に加わり、「人材確保について」協議を行った。 1 幼少期の影響が、就職に大きな影響を与えるため、高校生や大学生だけにフォーカスをあてるのではなく、小学生などにも警察官の魅力を伝えるようにしてはどうか。

	2 堅い警察官のイメージを払拭できるよう、親しみやすい警察官の一面を見せる仕組みづくりをしてはどうか。
	3 SNSやアプリを活用した採用活動をしてみてはどうか。
	4 警察で決定できないと思うが、給与面が職業選択に大きな影響を与えることは事実なので、そういった面も検討してはどうか。
	業務説明
	前四半期（令和6年10月から12月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和7年1月から3月まで）の業務推進計画については、事前に資料を委員に配布し説明した。
備 考	傍聴の実施
	関東学院大学生が傍聴し、ディスカッションに参加した。